

## **タキロン 工業用樹脂板製造設備の省エネ投資で 生産工程のCO<sub>2</sub>大幅削減**

タキロン株式会社(大阪市中央区 兵頭克盛社長)は、兵庫県たつの市にある網干工場内の工業用樹脂板(工業用プレスプレート)製造設備の省エネ性・CO<sub>2</sub>削減ならびに生産効率の向上を目的とした設備投資計画を発表した。

同製造設備は、カレンダープレス製法と呼ばれ、カレンダーシートと呼ばれる薄い樹脂シートを積層し、加熱及び加圧(プレス工程)によって一体化し、工業用樹脂板の製造を行う、数少ない国内外最大規模の設備である。

工業用プレスプレートは、主に半導体製造装置や液晶製造装置関連ならびに太陽電池製造装置に採用され、当社はこの分野での品種と生産量は業界トップである。

今回の投資は、プレス工程設備の主熱源であるボイラーを効率に優れたものに更新し、燃料も従来の重油から、環境への負荷軽減とメンテナンス性、燃焼効率とコストに優れたガスに転換することにより生産効率の向上、省エネ性とCO<sub>2</sub>削減を図る。

投資後の効果は、現行設備に比べ、生産量の変動による原単位(トータルエネルギー÷製造量)の改善で、10パーセントの省エネ効果と34パーセントのCO<sub>2</sub>削減効果の実現できる。

タキロンでは、今回の投資により同設備で製造される製品の特長である、複合化や切削用厚物といった差別化製品や、制電、難燃、耐熱・耐薬品、無金属といった機能を持つ製品群の拡充と、生産効率の向上によるスケールメリットを活かし、海外も含んだ市場での更なる競争力強化を図る。

また、同設備でも生産され、当社が世界に先駆けて開発し、すでに高いシェアで世界に供給しているFM規格認定品(※1)としてクリーンルーム用難燃材料や難燃壁材「IVY One」の増産も計画している。FM規格認定品は、米国を中心に販売、既に世界の半導体関連の製造装置やクリーンルーム及び製薬会社の工場等で採用され、販売を順調に伸ばしている。

今回の投資総額は建設・製造設備を含め約4億円。稼動は平成23年秋を予定している。

(※1)FM 規格とは、米国の損害保険会社 FM Global(※2)が、顧客である半導体工場や製薬・食品会社の火災に対する安全性を提案する為に制定した、主にクリーンルームで使用される部品や壁材の難燃規格。FM規格認定品を使用することで、火災発生を未然に防止することに加え、火災による被害を最小限に抑えることを目的に、低延焼性・低発煙性材料を用いた規格として制定された。

以上

この件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

<問合せ先> タキロン株式会社 総務人事部 峯 勝朗  
電話(06)6267-2690 FAX(06)6267-2654